

とびだせ！土石流3Dシアター  
～約800名が体感しました～

模型を用いて、砂防堰堤の役割を説明



3Dシアターで土石流を体感する親子達

10月15日(土)に十日町市内「越後妻有交流館キナーレ」にて、16日(日)に長岡市内「越後丘陵公園」にて、それぞれ土木の日ふれあい体験パークとおかまち及び土木フェスティバルが開催されました。

湯沢砂防事務所では、「土石流体感3Dシアター」を用いてご来場いただいた地域住民の方々に土砂災害の前兆現象や危険性、避難の大切さ並びに砂防事業の必要性を認識していただきました。

両日とも好天に恵まれたこともあり、多くの地域の方々に、飛び出る3D映像や揺れる椅子で土砂災害が体感できる土石流体感3Dシアターや説明パネル、現地見学会(16日のみ)により、砂防施設がどのような働きをしているかを説明し、砂防事業について理解を深めてもらいました。この他にも、会場では土木の日にちなんだ実際に動く建設機械の試乗体験やスタンプラリーなどにより、多くの方々に土木に親しんでいただける内容となっていました。

11月に入り、肌寒い時期となってきました。3Dシアターで体験した土石流の恐ろしさを思い出してもらい、雨が降るなど気象が急変したときは、災害から身を守るために早めの準備をお願いします。



建設機械の試乗体験

